

令和2年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）【定時制】

学校教育目標	1 自己の個性を伸ばし、意欲的に学び続ける人間の育成	2 自主自立の精神を持ち、社会の発展に寄与する人間の育成	3 心身ともに健康で、心豊かなたくましい人間の育成
育成を目指す資質・能力	【目的】 多様な生徒の多様な学習ニーズに対応しながら、自立への意志を持って地域の未来をひらく「人財」を育てる。 【資質・能力（霞城8C）】 ①自己肯定力 ②傾聴力 ③読解力 ④思考力 ⑤表現力 ⑥行動力 ⑦自己管理能力 ⑧自立力		

評価基準 A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

令和2年度重点目標	評価項目	自己評価	成果（○）と課題（●）	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者の意見等
1 個に応じたキャリア教育の推進	①「キャリアパスポート」の活用 ②外部人材・関係機関との連携 ③高大接続改革への対応	B	① 外部人材・関係機関と密に連携し生徒の多様な進路目標に対応したきめ細やかな指導を実施。 ② 高大接続改革等を意識した、適切な進路選択のための情報提供を増やした。 ① 「KAJO進路ハンドブック」・「キャリアパスポート」の効果的な活用方法。 ② 保護者への進路情報の到達やルールの理解が不十分である。	① コロナ禍のような非常時の進路指導の準備と研究。 ② 「KAJO進路ハンドブック」「キャリアパスポート」の効果的活用方法の工夫。	B	・社会の変化に対応したキャリア教育をお願いしたい。 ・コロナ禍でも外部連携がよくとれている。
2 授業の充実による学力の育成	①「学びの基礎診断」の活用 ② 探究型学習に関する研究・研修 ③ ICTを授業に取り入れる	B	① 1年次で「学びの基礎診断」を実施。 ② 校内研究授業において探究型学習を意識した、授業が増加。 ③ 授業等でiPadによる情報収集、オンライン授業に備えた動画作成、G Suite利用のシステムを構築。 ① 生徒への学びの基礎診断	① 「学びの基礎診断」を1・2年次で実施、年度比較等で活用する。 ② 探究型学習は生徒の実態を踏まえ、霞城8Cと連動し取り組む。 ③ ICT設備の活用方法や管理方法を整備する。	B	・オンライン学習は感染症対応だけでなく不登校傾向の生徒の学びにも有効である。 ・オンライン授業の整備がさらに必要。 ・探究型学習で地域との連携を重視してほしい。 ・学びの基礎診断の正確性の検証が必要。

			<p>の重要性の周知が不足。</p> <p>② 探究型学習は、生徒の実態を踏まえ時間をかける必要がある。</p> <p>③ 教員・生徒のICT機器の使用方法について理解を深める必要がある。</p>			
3 生徒指導の充実による生徒の社会力の向上	<p>①ライフスキル・ソーシャルスキル、自己有用感の向上</p> <p>②自主・自律の生活態度と公共心の育成</p> <p>③いじめ防止</p>	B	<p>① 霞城祭で生徒の創意工夫と実行力を向上させた。</p> <p>② 植樹プロジェクトは活動は出来なかったが、生徒の自主性と積極性による校内活動を行った。</p> <p>① 臨時休校により新入生への生活指導や生徒会活動での交流機会が減少した。</p> <p>② 「いじめはあるもの」との認識のもと、日々の生徒との会話や観察による発見が必要である。</p>	<p>① コロナ禍においても、良き人間関係を構築できるような生徒会行事の企画及び運営を行う。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用したコミュニケーション（交流会・意見交換等）を検討して欲しい。 ・いじめ対策の体制が整えられている。 ・生徒の力を引き出す活動ができた。 ・生徒が自ら考え行動できるように導いている。
4 心身の健康増進と安心・安全教育の充実	<p>①自己管理意識の向上</p> <p>②家庭や関係機関との連携</p> <p>③本校立地に応じた訓練・研修</p> <p>④防災・事故予防</p>	B	<p><学校保健></p> <p>① 新型コロナウイルス感染症対策を家庭と連携し実施した。</p> <p>② 学校医からの助言により身体計測・健康診断を延期・分散し3密を避け実施。</p> <p>① PCR検査を受けた生徒が陽性だった場合の対応。</p> <p>② 身体計測・健康診断の日に欠席した生徒への対応。</p> <p>③ 学校医との連絡・調整。</p>	<p><学校保健></p> <p>① 健康チェックカードによる健康観察の継続。</p> <p>② 3密を避けた身体計測・健康診断の継続。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ予防に十分対応してきた。 ・心の健康について評価や成果、課題の分析が必要である。 ・生徒に安心感を与えられる学校経営を希望します。 ・個別面談などメンタルケアに力をいれている。

			<p><学校安全></p> <p>① 避難経路確認、定通合同防災訓練を実施できた。</p> <p>② 不審者対策研修会は1回に集約して実施した。</p> <p>① 霞城セントラルビルのマニュアルとの整合性を図る。</p>	<p><学校安全></p> <p>① 新型コロナウイルス感染予防を行いながら、例年通りの訓練を再現していかなければならない。</p> <p>② 「対応力を身につける」「実際に役に立つ」を目標にした方法を検討</p>		
5 特別支援教育の推進	<p>①教育活動のユニバーサルデザインの推進</p> <p>②合理的配慮・支援の理解と実践</p> <p>③個別の支援計画の作成と実践</p> <p>④通級による指導の研究・研修、運用</p>	B	<p>① 大学教員による研修会を実施し、理解を深めた。</p> <p>② 通級指導2年目を実施。対象生徒の選定、指導、評価、単位認定のプロセスを策定した。</p> <p>③ ホワイトボード事例検討会を個別の指導計画の作成、通級による指導に反映。</p> <p>① ユニバーサルデザインによる指導の更なる推進。</p> <p>② 通級による指導の更なる研究・研修。</p> <p>③ 通級による指導の対象生徒の理解。</p>	<p>① ユニバーサルデザインによる指導の校内研修の実施。</p> <p>② 通級による指導の開始の早期化。</p> <p>③ 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の更なる研究・研修。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を大切にした授業を推進してほしい。 ・通級に関して家庭と学校がよく連携して実施されている。 ・通級指導を通して社会的な力を付けられるようにお願いしたい。 ・通級指導は生徒保護者の期待も大きいので、さらに充実してほしい。
6 魅力・活力あふれ開かれた学校づくり	<p>①魅力ある生涯学習講座の検討</p> <p>②ガイダンス機能を果たす情報発信</p> <p>③外部諸機関との連携</p>	B	<p>① コロナ禍により生涯学習講座は中止。</p> <p>② ネット動画により学校説明を実施。</p> <p>③ キャリア教育、特別支援教育、生涯学習講座運営について外部機関と連携。</p> <p>① コロナ禍に対応した生涯学習講座、情報発信、外部機関との連携が必要。</p>	<p>① 感染予防対策を講じて生涯学習講座を実施。</p> <p>② ICTを活用し柔軟な方法によりガイダンス機能を確保する。</p> <p>③ 生徒の実情を踏まえた多様な外部人材の活用を推進。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に対応した取組が必要。 ・ICTの更なる充実が必要。 ・外部講師をオンラインで招く等で、これまでできなかった講座もできるようになるかもしれない。

